岩盤ボーリング柱状図

調査名	主要地方道　西城比和線地質調査業務委託（道路改良・単独）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	No.16	調査位置	広島県庄原市比和町三河内地内	北緯	34° 58' 10.0490"
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所	調査期間	令和3年10月19日～ 令和3年11月 3日	東経	133° 02' 16.9460"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 632.75m	角度	180°上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
地盤勾配	38° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種			
総削孔長	20.00m	試錐機	東邦地下工機D0型		
エンジン	ヤンマーディゼルNFD-9	ポンプ	東邦地下工機BG-3C		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事
	632.25	0.50		黒ボク	黒灰								草根含む黒ボク。
	631.90	0.85		礫混り砂	茶								凝灰岩の礫含む礫混り砂（崩積土）。
1				風化ひん岩	茶灰	w5		E	VI	d	D	0[0](100)	強風化したひん岩。
2												0[0](100)	風化が著しく、わずかに組織が確認できる程度。
3												0[0](100)	砂状～粘土状コア。指圧で容易に崩れる。
4												0[0](100)	
5	627.80	4.95										0[0](100)	砂状～礫状を呈す風化ひん岩。所々に角礫状の凝灰岩を含む。GL-0.85～4.95mよりも岩組織を残す。
6						w5			VI		D	0[0](100)	
7												0[0](100)	GL-7.45～7.60m間砂状～粘土状となる。
8												12[12](100)	
9				凝灰岩	暗灰	w3	h1	D	IV	c	CL	0[0](100)	礫状～短柱状コアを呈す凝灰岩。割れ目が多く発達するが、岩片は硬質である。
10												0[0](100)	GL-9.00～9.30m、10.00～11.80m間はひん岩が貫入している。ひん岩は風化が進み礫状～砂状を呈す。
11												5[0](100)	ひん岩の周辺は凝灰岩も礫状～岩片状を呈す。
12	620.65	12.10											
13						w2		B	II	b	CH	30[71](100)	GL-12.10～13.80mは主として柱状コアを呈す凝灰岩。45～70°程度の割れ目が存在。
14	618.95	13.80										49[49](100)	GL-13.20m付近には褐色に酸化した鉱物脈が存在し、その周辺は岩片状～短柱状を呈す。
	618.20	14.55							III		CM	13[13](100)	GL-13.80～14.55mは主として短柱状を呈す。
	617.90	14.85		ひん岩	茶灰	w3		C	IV	c	CL		主に岩片状を呈すひん岩。
15				凝灰岩	暗灰	w2		B	IV	b	CM	17[27](100)	上下の境界付近は砂状を呈す。境界の角度は10°程度。主に短柱状～柱状コアを呈す凝灰岩。
16	616.50	16.25										27[61](100)	全体に水平～80°の割れ目が存在。GL-14.85～16.25mは岩片状～短柱状を呈す。
17						w2					CH	34[89](100)	GL-15.80～16.00m付近は割れ目に沿って鉱物脈が存在し、その周辺が岩片状となる。
18								B	II			32[99](100)	GL-16.25～19.55mは主として柱状を呈す。GL-16.80,17.65m付近に鉱物脈が存在し、その周辺は岩片状～短柱状となる。
19	613.20	19.55										25[80](100)	
20	612.75	20.00							IV		CM		GL-19.55～20.00mは割れ目がやや増え、短柱状を呈す。
21													
22													
23													
24													
25													

孔内水位／測定月日：10/26 6.45、6.85

標準貫入試験 深度－N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
6	1.15	6 300		
	1.45			
5	2.15	5 300		
	2.45			
7	3.15	7 340		
	3.49			
8	4.15	8 300		
	4.45			
17	5.15	17 300		
	5.45			
9	6.15	9 300		
	6.45			
8	7.15	8 300		
	7.45			
5	8.15	5 300		
	8.45			
50以上	9.00	貫入不能		
50以上	10.00	貫入不能		
50以上	11.00	貫入不能		
50	11.50	50 300	300	
	11.80			

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
		10/22	900	86	打込み／S／MC	0	0	0	W1/0	0
			600			0	40			
						1	40			
			480		SW／MC	1	80	0	W3/10	10
		10/25						0	W3/5	4
			90		HW／DB	1	180	0	W3/5	0
		10/26						0	W3/5	0
		10/27	60			1	180			
			150		HW／DI	1	200	0	W3/5	5
		10/28	150			1	200			
			150							
			120			0	180	0	W3/5	5
			150			2	200			
			180							
			120			2	200			
		10/29								